

令和6年度 平塚市文化芸術振興計画 掲載事業 進捗状況管理表

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
1	1	魅力	①	文化芸術ホールのコ ンサートなどの自主 公演	市民の文化芸術鑑賞機会を提供す るため、ひらしん平塚文化芸術ホー ル指定管理者が、音楽、演劇など 様々なジャンルの自主企画公演を 実施します。	音楽公演 10回開催 観客7,195人 演劇・ミュージカル公演 3回開催 観客 1,633人 ダンス公演 1回開催 観客 2,000 人 落語・エンタメ公演 2回開催 観客 876人 エントランス等コンサート 16回開 催 観客 1,650人	音楽公演 8回開催 演劇・ミュージカル公演 2回開催 ダンス公演 2回開催 落語・エンタメ公演 2回開催 エントランス等コンサート 18回開 催	音楽公演 8回開催 観客6,314人 演劇・ミュージカル公演 2回開催 2,160人 ダンス公演 2回開催 観客 2,351 人 落語・エンタメ公演 2回開催 1,191 人 エントランス等コンサート 18回開 催 観客 1,692人	ほぼ計画どおりに自主公演を合計 32回開催し、13,708人の参加が あった。市内外の多くの方に多様な ジャンルの文化芸術鑑賞体験を提 供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働 連携して実施
2	1	魅力	①	魅力ある美術展覧会 事業	多様な年齢層が国内外の優れた近 現代美術作品に接する機会を充実 させるため、テーマを設定した企画 展と所蔵品を活用した特集展を開 催します。	企画展を3回、特集展を4回開催 観覧者数62,928名	企画展3回、特集展4回をを開催予 定	企画展を3回、特集展を5回開催 観覧者数61,236名	優れた美術作品を鑑賞する機会の 提供に努めました。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
3	1	魅力	①	博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果 を市民の知的共有財産とするため、 特別展を開催し、その成果を分かり やすく具体的に展示します。	夏期特別展「茶色ばかりじゃあない んだぞ カラフルな考古資料た ち」展、秋期特別展「天象儀100年 の軌跡」展、春期特別展「平塚の古 道をゆく」展の3回の特別展を開催。 会期中の入館者：29,182人	学芸員が収集・調査・研究した成果 を市民の知的共有財産とするため、 特別展を開催し、その成果を分かり やすく具体的に展示します。	夏期特別展「標本で！植物観察」 展、秋期特別展「お家をまわる子育て 地蔵」展、春期特別展「近代ひら つかの女性たち」展の3回の特別展 を開催。 会期中の入館者：31,720人	予定どおり3回の特別展を開催し、 市民の知的共有財産として蓄積し た。市民の学習活動を推進するた め、魅力的なテーマの掘り起こしと 調査研究を継続する。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
4	1	魅力	①	実行委員会形式の ジャズ、演劇、吹奏 楽フェスティバル、市 民合唱祭	平塚市まちづくり財団が、市民参加 型の文化芸術事業として、ジャズ、 演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを 実行委員会を組織して実施します。	5月14日(日) ジャズフェスティバ ル 4団体参加 観客 627名 9月23日(土)、24日(日) 演劇 フェスティバル 7団体参加 観客 463名 11月5日(日) 吹奏楽フェスティバ ル 12団体参加 観客 のべ 1,168名 3月17日(日)市民合唱祭 23団 体参加 観客332人	5月 ジャズフェスティバル 1日開 催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 11月 吹奏楽フェスティバル 1日 開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月12日(日)ジャズフェスティバル 4団体参加 観客930人 9月28日(土)、29日(日)演劇フェス ティバル 6団体参加 観客502人 11月10日(日)吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客1,096人 3月9日(日)市民合唱祭 25団体参 加 観客329人	4事業を市民参加による実行委員 会形式で予定通り実施され、合計 46団体、観客2,857人が来場した。 多くの市民に文化芸術の発表や鑑 賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働 連携して実施
5	1	魅力	①	湘南ひらつか囲碁ま つり	木谷道場より多くの有力棋士を輩出 した「囲碁のまちひらつか」のシンボ ルイベントとして、プロ棋士を多数招 いた国内最大級の囲碁多面打ち大 会等を実施し、地域における囲碁文 化の振興と発展を促進します。	10月8日(日)開催 参加1,700人(1000面打ち大会762 人)	10月 紅谷パールロードを中心に 開催	10月13日(日)開催 参加者2,800人(1000面打ち大会 806人)	70人を超える囲碁のトッププロ棋士 が参加する日本最大級の囲碁イベ ントを開催することで、市内外の囲 碁ファンや市民等に「囲碁のまちひ らつか」をPRすることができた。 また、感染症対策等により中止して いた懇親会を6年ぶりに実施した。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働 連携して実施
6	1	魅力	①	木谷實・星のプラザ を活用した囲碁文化 の発信	ひらしん平塚文化芸術ホールに設 置した木谷實・星のプラザで、木谷 實九段の人柄や偉大な囲碁の功 績、並びに木谷一門の活躍を中心 に、囲碁文化の発信を行う展示を実 施します。	常設展示に加え、企画展示スペー スで企画展示を4回実施 ・囲碁と錦絵ー水口コレクションー ・木谷道場での生活 ・好敵手呉清源と鎌倉十番碁 ・日曜品と囲碁ー水口コレクションー	常設展示に加え、企画展示スペー スで企画展を年4回実施	常設展示に加え、企画展示スペー スで企画展を年4回実施 ・日用品と囲碁ー水口コレクションー ・木谷實と地方回り指導碁と子ども たちとの出会い ・木谷道場での生活 ・木谷實と名人引退碁 ・星のプラザ周辺を会場に 「『木谷實・星のプラザ』プロ棋士指 導碁」を実施 参加 97人	計画どおり4回の企画展を実施し、 囲碁文化の発信を図った。 また、木谷實・星のプラザ周辺を会 場として「『木谷實・星のプラザ』プロ 棋士指導碁」を開催し、木谷實九段 の功績と囲碁文化の普及振興を 図った。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
7	1	魅力	①	村井弦斎まつり	平塚に居住し、食文化の向上と小 説の大衆化に寄与した時代の先駆 者、村井弦斎の遺徳を偲び、その 業績を市内外に発信・定着させると ともに、まちおこしの一環となること を目的に、村井弦斎まつりを開催し ます。	弦斎再現料理販売、地場産野菜・ 魚燻製販売や、野点、ソプラノ・箏・ ピアノユニット 絃声の公演、食道楽 弦斎食育釣りかるたを行い、子ども 向けには、子ども茶道体験教室、い ちご飴つかみ取り、紙芝居、タマ三 郎のお魚つりゲームを行った。来場 者1,226人。	9月29日(日)午前10時～午後2 時30分、村井弦斎公園を会場に大 人子どもも楽しめる弦斎ゆかりの イベント(催事)やブースで食道楽レ シピの再現料理・菓子、新鮮野菜販 売等を予定	弦斎再現料理販売、地場産野菜・ 魚燻製販売や、野点、ソプラノ・ピア ノユニットの公演、食道楽 弦斎食育 釣りかるたを行い、子ども向けに は、子ども茶道体験教室、いちご飴 つかみ取り、紙芝居、タマ三郎のお 魚つりゲームを行った。来場者 1,112人。	多くの来場者があり、村井弦斎の業 績を市内外に発信・定着させるとと もに、まちおこしの一環とすることが 出来た。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働 連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
8	1	魅力	②	里山の保全・活用	(環境保全課) 里山らしさがよく残された西部丘陵地域の自然を保全・再生するため、土屋頭無地区の山林の一部を里山保全モデル地区に指定しました。里山保全モデル地区では、市民ボランティアや地域の人などと散策路の整備、倒木の裁断、間伐、下草刈などによる里山の整備事業を実施します。 (まちづくり政策課) 本市西部地域の貴重な自然環境や地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、まちづくり条例に基づいた「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が主催する活動を支援します。	(環境保全課) 作業を5回実施(農道整備、地区内エノキの幼木の保護、エノキ・コナラ・クヌギの保護と数を増やすための種の確保)合計47人の市民ボランティア等が参加。 (まちづくり政策課) 4年振りにワークショップの開催された。また、協議会等と合計9回意見交換を行った。	(環境保全課) 作業を年6回実施(農道整備2回、地区内エノキの幼木の保護、落ち葉かき、エノキ・コナラの保護と数を増やすための種の確保、林内整備、オオムラサキ越冬幼虫調査) (まちづくり政策課) 自然体験や環境学習の機会を創出して樹林地等の活用を進めます。	(環境保全課) 作業を5回実施(農道整備、地区内エノキの幼木の保護、エノキ・コナラ・クヌギの保護と数を増やすための種の確保)合計69人の市民ボランティア等が参加 (まちづくり政策課) ワークショップが2回開催された。また、協議会等と合計9回意見交換を行った。	(環境保全課) 敷地周辺の農道の草刈りや敷地内でのエノキ、クヌギ、コナラの種の搜索、特定外来生物の卵しよ駆除、間伐等を行った。なお、オオムラサキの幼虫は確認できなかった。 (まちづくり政策課) 協議会等と意見交換を重ねて、まちづくりの方向性や次年度以降の連携のあり方について、協議を行うことができた。	環境部 まちづくり政策部	環境保全課 まちづくり政策課	(環境保全課) 市と市民等が協働連携して実施 (まちづくり政策課) 市と市民等が協働連携して実施
9	1	魅力	②	海岸エリア魅力アップチャレンジ	湘南海岸公園をはじめ、龍城ヶ丘プールの跡地やビーチパーク、平塚新港、なぎさプロムナードの五つのゾーンで、それぞれのコンセプトによる魅力アップを図り、安心・安全で楽しみいっぱい、誰もが「訪れたい、暮らしたい」と思うようなまちづくりを進めます。	(広報課) 市民や団体等からのなぎさプロムナード歩道上でのイベント開催希望はありませんでした。 (農水産課) 平塚新港で魚まつり朝市を開催し約800人が来場されました。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップの配布や情報発信を実施。 ・「ひらつか匠の店」ツアーを1回実施。 ・SunSunマルシェの継続開催に向け、イベント会場及び臨時駐車場に係る公園使用について、手続き面で協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施した。 (都市整備課) 庁内関係課と協議を3回実施。 (みどり公園・水辺課) 設計及び関係機関協議を完了した。	(広報課) 市民や団体等から開催希望があった場合に、ノウハウの提供や道路占用許可等の手続へ協力。 (農水産課) 平塚新港で魚まつり朝市を開催します。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップ配布などを通じ来街者への平塚のイメージアップを図り、魅力ある店舗の出店を促進。 ・花水公民館で匠の店である鳥仲商店の「唐揚げの作り方教室」を秋に開催予定。匠の店のパンフレットの配布。 ・公園使用の手続き面で、SunSunマルシェの継続開催に協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施する。 (交通政策課) 龍城ヶ丘プールの跡地に設置される施設の開設に合わせて、レンタサイクルの設置ができるよう事業者と調整を図ります。 (都市整備課) 平塚新港周辺整備の考え方の整理と方向性が示されるよう、庁内関係課に働きかけを行う。 (みどり公園・水辺課) 事業者と令和6年6月28日までに実施協定等を締結し、工事を進める。	(広報課) 市民や団体等からのなぎさプロムナード歩道上でのイベント開催希望はありませんでした。 (農水産課) 平塚新港で魚まつり朝市を開催し約500人が来場されました。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップ配布などを通じ来街者への平塚のイメージアップを図り、魅力ある店舗の出店を促進。 ・花水公民館で匠の店である鳥仲商店の「唐揚げの作り方教室」を開催し、匠の店のパンフレットを配布した。 ・公園使用の手続き面で、SunSunマルシェの継続開催に協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を行いました。また、良好な景観の維持・保全等を図ることを目的に、なぎさプロムナードを景観重要公共施設に位置付けました。 (交通政策課) シェアサイクル事業者と協力して弦斎公園などにサイクルポートを設置し、自転車での回遊性の向上を図った。 (都市整備課) 庁内関係課へ情報共有を行った。 (みどり公園・水辺課) 事業者と実施協定等を締結し、工事を進めた。	(広報課) イベントの開催はありませんでしたが、海岸エリアの魅力を、インスタグラムなどで紹介し、高評価をいただきました。 (農水産課) 地場産水産物の販売などにより漁業理解の促進や賑わい創出に寄与しました。 (商業観光課) ・湘南観光ガイドブック「SHONAN SLOW TRIP」を一部改訂・増刷し、誘客を図った。 ・匠の店の認知度向上が図れた。 ・月1のSunSunマルシェ開催に向け手続き面で協力し、継続開催を支援した。 (まちづくり政策課) 良好な景観形成を誘導することができた。 (交通政策課) 自転車での回遊性を高めるために、利便性の良い場所へのサイクルポートの確保が課題となっていた。 (都市整備課) 港を中心とした周辺整備の考え方、方向性の整理が必要。 (みどり公園・水辺課) オープンに向けて、着実に工事を進めた。	市長室 企画政策部 産業振興部 まちづくり政策部 都市整備部	広報課 企画政策課 農水産課 商業観光課 まちづくり政策課 交通政策課 都市整備課 みどり公園・水辺課	(広報課) 市と市民等が協働連携して実施 (農水産課) 市と市民等が協働連携して実施 (商業観光課) 市と市民等が協働連携して実施 (まちづくり政策課) 市と市民等が協働連携して実施 (交通政策課) 市が単独で実施 (都市整備課) 市が単独で実施 (みどり公園・水辺課) 市が単独で実施
10	1	魅力	②	高麗山公園(湘南平)魅力アップ事業	高麗山公園(湘南平)について、樹木整理による眺望の確保や、再整備に向けた公園の方向性、整備手法等について整理・検討します。	老朽化した遊具を更新するとともにテーブルベンチを増設した。また、新たに大磯町・二宮町と共同で散策マップを作成し、より広域への情報発信に努めた。	ベンチやテーブルの増設等により、利用者の快適性の向上を図る。	老朽化したベンチをや花壇を改築しテーブルベンチを増設した。	テーブルベンチや増設により様々な方が頂上エリアの眺望・景観を楽しめる公園機能が向上した。	都市整備部	みどり公園・水辺課	市が単独で実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
11	1	魅力	②	金目エコミュージアム	金目地区の自然環境、歴史、文化遺産を守り・伝え・活かすため、地域団体「金目エコミュージアム」において、地域のまちづくりや自然・歴史の調査等の各種事業を展開します。	5月4日(木)わかば祭り 700人 8月12日(土)灯ろう流し 11月5日(日)金目収穫祭 800人 11月12日(日)日本エコミュージアム研究会2023活動発表・講演会・活動展示等66人 3月20日(水・祝)秋山博頌徳祭 80人 3月17日(日)～20日(水・祝)秋山博資料展 30人 出前授業 6月28日(水)、9月6日(水)、11月1日(水)	4月 わかば祭り 1日開催 8月 灯ろう流し 1日開催 11月 金目収穫祭 1日開催 3月 秋山博頌徳祭・資料展 頌徳祭1日、資料展3日間開催 随時 出前授業	5月4日(木)わかば祭り 800人 8月10日(土)灯ろう流し 11月4日(日)金目収穫祭 800人 3月20日(木・祝)秋山博頌徳祭 100人 3月16日(日)～20日(木・祝)秋山博資料展 80人 出前授業 6月19日(水)、9月6日(金)、11月1日(金)、1月31日(金)、3月6日(木)	金目地区の魅力を発信するための調査・研修を積極的に実施している。 会員の高齢化と減少傾向があり、事業を持続していく方法を検討していく事が課題。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
12	1	魅力	②	景観形成推進事業	自分たちが住むまちや地域の環境に関心を持ってもらうため、テーマに沿った景色等を描いてもらう「わたしが好きなまちかどスケッチ展」(市内小学校の児童対象)を実施します。また、景観法の基本理念の普及や良好な景観形成についての意識啓発を目的として、市内の特徴ある風景等を紹介する「景観パネル展」を実施します。	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:402点 募集作品展示: (美術館)令和5年10月26日(木)から10月29日(日)まで ※市役所での展示は、展示予定場所が新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用されることとなったため、中止。 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	わたしが好きなまちかどスケッチ展 8月30日(金)から9月6日(金)まで 市内小学校から作品を募集 募集作品展示: (美術館)令和6年11月7日(木)から11月10日(日)まで (市役所)令和6年11月19日(火)から11月22日(金)まで 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:343点 募集作品展示: (美術館)令和6年11月7日(木)から11月10日(日)まで (市役所)令和6年11月19日(火)から11月22日(金)まで 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	子どもたちに自分たちが住むまちや地域の環境に関心を持ってもらえた。また、子どもたちの作品の展示や景観パネル展を実施することによって、子どもたちだけでなく幅広い層に対して平塚市の景観に対する意識の向上を促すことができた。	まちづくり政策部	まちづくり政策課	市が単独で実施
13	1	魅力	②	湘南ひらつか七夕まつり	観光振興のため、新たな日常に対応した、安心・安全な七夕まつりを開催します。	7月7日(金)～9日(日)の3日間開催 来場者数 115万人	安心安全で魅力あるまつりとし、課題となっている七夕飾りの減少、見附台公園周辺の混雑に対しても対応策を検討し、持続可能な開催を目指す。	7月5日(金)～7日(日)の3日間開催 来場者数 110万人	七夕おどり千人パレードの参加者がR5年と比べて150名弱減少したため、引き続き参加者の減少対応策を講じていく。 また、新たな課題となっていた、露店設置に伴う混雑や雑踏は入場口と退場口の分離や会場内の導線整理を行い来場者の安全管理と秩序維持に努めた。	産業振興部	商業観光課	市と市民等が協働連携して実施
14	1	魅力	②	市民団体との協働による着地型観光の推進	地域資源を活用した新たな体験プログラム等の実施及びこれを通じた平塚の魅力を情報発信します。	令和4年度で事業を終了し、観光協会にて実施となった。	—	—	—	産業振興部	商業観光課	市と市民等が協働連携して実施
15	1	魅力	②	平塚産品普及促進事業	メイドイン平塚を市内外に広く普及させるため、生産者と消費者とのふれあいの場の充実を図るほか、平塚産品をPRすることにより、ブランド化を進めていきます。	名産品各種物産展等への参加日数37日(うち、湘南ふれあいマーケット12日) 名産品・特産品ウェブページアクセス件数31,605件	名産品及び特産品を市内外に広く普及させるため、周知活動を実施する。 湘南ひらつかふれあいマーケット(朝市)を月1回の開催する。	名産品各種物産展等への参加日数39日(うち、湘南ふれあいマーケット12日) 名産品・特産品ウェブページアクセス件数37,992件	課題:名産品について、ブランド価値の向上を図りつつ、効果的に市内外に広く普及させることができるかの方法を事業者とともに検討する必要がある。湘南ひらつかふれあいマーケットでは、SNS等での情報発信や新たな出店者の募集に加え、買い物以外の付加価値を提供する場を作り、新規の来場者を増やし、生産者と消費者とのふれあいの場を創出する必要がある。 成果:湘南ひらつか名産品及び特産品を広く市内外に周知するため、イベント出店やチラシ配布を行ったほか、地場産品の普及促進につなげられるよう湘南ひらつかふれあいマーケットの開催について、出店者会を支援した。	産業振興部	産業振興課	市と市民等が協働連携して実施
16	1	魅力	②	市民総合体育大会開催事業	正式種目を地区対抗として15種目18競技、公開種目を自由参加として6種目開催します。	10月22日(日)～11月12日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。 正式種目の参加者は、2,985名	10月27日～11月17日に開催。	10月27日(日)～11月17日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。 正式種目の参加者は、3,036名。	計画どおりに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
17	1	魅力	②	各種スポーツ大会開催事業	地区対抗と実業団対抗による、市内の公道をコースとする駅伝競走大会を開催します。	令和6年1月7日(日)に実施。 地区対抗の部 20チーム 120 人 実業団対抗の部 9チーム 45 人 合計 29 チーム 165 人	令和7年1月12日に開催。	令和7年1月12日(日)に実施。 地区対抗の部 18チーム 108 人 実業団対抗の部 8チーム 40 人 合計 26 チーム 148 人	計画どおりに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
18	1	共生	①	来館できない人への図書館サービス事業	図書館に来館出来ない人のために、移動図書館車の巡回、出前図書館等を実施するとともに、障がいのある方に対し郵送等による資料の貸出を行います。また来館しなくてもインターネットから資料を貸出する電子図書館サービスを実施します。	出前図書館 計15団体へ4,769点貸出 郵送貸出(デジタイズ図書・録音図書・CD)計 285点 電子図書館ログイン回数 29,329回 電子図書館閲覧回数 54,391回	移動図書館の巡回、出前図書館・団体貸出実施(要望により随時)、郵送サービスの実施、電子書籍の購入・貸出及び電子図書館の周知を行う	出前図書館 計17 団体へ 4,767点貸出 郵送貸出計320点(デジタイズ図書0点・録音図書19点・音楽CD301点)貸出 電子図書館ログイン回数42,956回	令和7年度末で移動図書館の定期巡回が終了となるため、今後は出前図書館・団体貸出、公民館等予約資料受取所の設置等によって、図書館から離れた地域へのサービスを充実する必要がある。	社会教育部	中央図書館	市が単独で実施
19	1	共生	①	町内福祉村での文化的活動	町内福祉村の活動拠点や自治会館などで福祉村のサロン活動を展開します。	18の福祉村で7,999回のサロンを実施し、79,907人が参加した。	各福祉村の活動が活発になるよう引き続き支援し、多くのサロン活動が展開されるよう促すとともに、広く活動を周知し、様々な世代の参画を促す。	18の福祉村で8,056回のサロンを実施し、82,433人が参加した。	各地区でボランティアの高齢化が進んでおり、継続的な活動が難しくなっている。	福祉部	福祉総務課	市と市民等が協働連携して実施
20	1	共生	①	老人クラブ(ゆめクラブ)での文化的活動	「生きがい教室」や「趣味の作品展」を老人クラブと共催して開催します。	音楽教室 9回129人 フラワーアレンジメント教室 2回24人 手芸教室 6回82人 趣味の作品展 1回630人 福祉大会 1回402人	・音楽や手芸などを学ぶ生きがい教室の開催 ・福祉大会や趣味の作品展を各1回開催	音楽教室 9回220人 手芸教室 7回118人 趣味の作品展 1回670人 福祉大会 1回300人	生きがいや健康づくりの一環として多様な文化芸術を楽しむ機会を設けることができた。令和9年度以降、中央公民館が使用できなくなるため、福祉大会を継続するための方策を検討する必要がある。	福祉部	高齢福祉課	市と市民等が協働連携して実施
21	1	共生	①	保育園、幼稚園、病院等への訪問コンサート	平塚市まちづくり財団が、保育園・幼稚園等にアーティストを派遣し、コンサートを実施します。また、東海大学と連携し、平塚市民病院に音楽療法等を学ぶ学生を派遣します。	保育園・幼稚園等14園への訪問コンサートを実施した。	保育園・幼稚園等でのコンサートを実施予定	保育園・幼稚園等19園でのコンサートを実施した。	園児が音楽に触れる貴重な機会を提供することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
22	1	共生	①	ひらつか障がい者福祉ショップありがとうでの製作品等の販売	障がい者が働く福祉ショップありがとうでの製作品等の販売を通じて、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を進めます。	福祉ショップありがとうの運営及び製作品等の販売を行い、また、それに加えて、「心のバリアフリー」に関連する冊子やグッズを配布し、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進した。	福祉ショップありがとうの運営及び製作品等の販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進する。	福祉ショップありがとうの運営及び製作品等の販売を行い、また、それに加えて、「心のバリアフリー」に関連する冊子やグッズを配布し、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進した。	計画どおりに、福祉ショップありがとうの運営及び製作品等の販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進することができた。	福祉部	障がい福祉課	市と市民等が協働連携して実施
23	1	共生	①	国際交流イベントの開催	市内在住・在勤・在学の外国籍市民とともに、各国の文化の紹介や音楽などを楽しみながら、お互いの文化を理解し交流を深め、市民の国際理解と多文化共生の推進を図るため、ひらつか国際交流フェスティバルを開催します。	開催日時：令和5年11月19日(日) 13時～16時 場所：ひらしん平塚文化芸術ホール・多目的ホール・見附台公園 参加：600人	年間1回開催	開催日時：令和6年10月27日(日) 10:00～15:30 場所：平塚市総合公園 野外ステージ・平塚のはらっぱ 参加者：1,500人	令和5年度と比較し、場所も野外になったこともあり、1,500人(前年度比+900人)という多くの来場者を得ることができた。また、ステージパフォーマンス(8→10演目)や模擬店出店(6→12店舗)団体も前年度と比較して増え、様々な国に参加していただいたことにより、多くの市民が多文化共生に対する理解を深めながら楽しむことができる機会となった。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
24	1	共生	①	文化芸術ホールにおける誰もが参加しやすい配慮をした事業実施	誰もが参加しやすい文化芸術鑑賞機会を提供するため、ひらしん平塚文化芸術ホール指定管理者が、年齢や国籍、障がいの有無などを問わない多様な市民向けの公演を実施します。	11月3日(金) This is me! これが私！200人によるゴスペルコーラス開催 観客 815人 8～74歳の72名の公募市民クワイアが参加	8月 式町水晶トーク&ライブ 1日開催	8月24日(土)式町水晶トーク&ライブ開催 観客403人	脳性まひのヴァイオリニスト、式町水晶さんを迎え、演奏のみならずその生い立ちと活動をお話してもらい、観客に多様な生き方についての理解を深めるきっかけとなった。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
25	1	共生	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭(再掲)	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月14日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 627名 9月23日(土)、24日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 463名 11月5日(日) 吹奏楽フェスティバル 12団体参加 観客 のべ 1,168名 3月17日(日)市民合唱祭 23団体参加 観客332人	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 11月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月12日(日)ジャズフェスティバル 4団体参加 観客930人 9月28日(土)、29日(日)演劇フェスティバル 6団体参加 観客502人 11月10日(日)吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客1,096人 3月9日(日)市民合唱祭 25団体参加 観客329人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施され、合計46団体、観客2,857人が来場した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
26	2	継承	①	社会科副読本編集発行事業	郷土の歴史・地理・産物等を学ぶため、小学校3・4年生の社会科で使用する副読本と白地図を発行します。	小学校3・4年生用の社会科副読本「わたしたちの平塚」を2,200部作成し、新小学3年生に配布した。	小学校3・4年生の社会科で使用する副読本「わたしたちの平塚」と白地図を2,300部作成し、市内の新小学3年生に配布する予定。	小学校3・4年生用の社会科副読本「わたしたちの平塚」を2,200部作成し、新小学3年生に配布した。	計画通りに作成でき、市内の新小学3年生に配布できた。小学校3・4年生の社会科の副読本として活用されている。	学校教育部	教育研究所	市が単独で実施
27	2	継承	①	地域を学ぶ普及・体験事業	体験学習や講座を開催します。	人文・自然各部門で計389回開催。延べ参加人数:6,611人	体験学習や講座を開催します。	人文・自然各部門で計401回開催。延べ参加人数:8,634人	魅力的な体験や講座を企画し、新たなファン層の取り込みを図った。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
28	2	継承	①	芸術文化子ども体験事業	子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史・伝統・芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	【依頼先】 小学校4、公民館5、教育力ネット3 【内容】 華道7、琴3、奇術1、茶道3、書道3、相模人形芝居2 参加者は205名。	12教室開催	【依頼先】 小学校3、公民館8、教育力ネット4 【内容】 華道7、茶道4、書道3、音楽4、相模人形芝居3 参加者は234名。	体験を通して、子どもたちの芸術文化への関心や理解を深めることができた。 未実施地区及び学校への周知、理解の拡大が課題である。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
29	2	継承	①	博物館特別展示事業(再掲)	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	夏期特別展「茶色ばかりじゃあないんだぞ カラフルな考古資料たち」展、秋期特別展「天象儀100年の軌跡」展、春期特別展「平塚の古道をゆく」展の3回の特別展を開催。会期中の入館者:29,182人	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	夏期特別展「標本で! 植物観察」展、秋期特別展「お家をまわる子育て地蔵」展、春期特別展「近代ひらつかの女性たち」展の3回の特別展を開催。会期中の入館者:31,720人	予定どおり3回の特別展を開催し、市民の知的共有財産として蓄積した。市民の学習活動を推進するため、魅力的なテーマの掘り起こしと調査研究を継続する。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
30	2	継承	②	能狂言などの伝統芸能公演事業	平塚市まちづくり財団が、普及・振興事業として、実行委員会を組織して実施します。	—	2月 能狂言 1日開催	2月8日(土)第10回湘南ひらつか能狂言開催。入場者516人。	平塚ゆかりの復曲能「真田」を10年ぶりに再演し、過去最高の入場者数となった。多くの方に日本の伝統芸能である能に触れる機会を提供することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
31	2	継承	②	ふるさと歴史再発見事業	先人達が守り伝えてきた文化遺産や歴史等を掘り起こし、見つめ直し、その調査、保存、普及活動に取り組む地域や団体等の活動を支援します。	中原の鷹狩り行列が4年ぶりに開催された。 市内各所に設置している文化財説明版の点検を行い、「平塚灯台(須賀の灯台)跡地」の説明版修繕を実施。市ホームページ上で説明板設置マップを公開した。	中原の歴史再発見活動委員会の活動補助。 市内各地に設置した文化財説明版の点検及び修繕の実施。	中原の歴史再発見活動委員会は、市補助金の交付は受けずに事業を実施。鷹狩り行列が行われた。 市内文化財説明板の点検を実施。湘南新道遺跡解説板台座修繕を実施。	市内に設置の文化財説明板は、経年劣化を伴うため、点検と必要に応じて修繕が必要となることが課題。成果としては、一部修繕を実施し、整備を進められた。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
32	2	継承	②	博物館調査研究事業	地域の歴史や自然の調査研究を進め、成果を蓄積し刊行物発行等の教育活動を実施し、合わせて博物館資料の保全を図ります。	博物館調査研究報告『自然と文化』に6件の報文として掲載し刊行した。	地域の歴史や自然の調査研究を進め、成果を蓄積し刊行物発行等の教育活動を実施し、合わせて博物館資料の保全を図ります。	博物館調査研究報告『自然と文化』に8件の報文として掲載し刊行した。	市民協働の収集・調査・研究がすすめられ資料や情報を蓄積した。	社会教育部	博物館	市と市民等が協働連携して実施
33	2	継承	②	木谷實・星のプラザを活用した囲碁文化の発信(再掲)	ひらしん平塚文化芸術ホールに設置した木谷實・星のプラザで、木谷實九段の人柄や偉大な囲碁の功績、並びに木谷一門の活躍を中心に、囲碁文化の発信を行う展示を実施します。	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を4回実施 ・囲碁と錦絵ー水口コレクションー ・木谷道場での生活 ・好敵手呉清源と鎌倉十番碁 ・日曜品と囲碁ー水口コレクションー	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展を年4回実施	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展を年4回実施 ・日用品と囲碁ー水口コレクションー ・木谷實と地方回り指導碁と子どもたちとの出会い ・木谷道場での生活 ・木谷實と名人引退碁 ・星のプラザ周辺を会場に「『木谷實・星のプラザ』プロ棋士指導碁」を実施 参加 97人	計画どおり4回の企画展を実施し、囲碁文化の発信を図った。 また、木谷實・星のプラザ周辺を会場として「『木谷實・星のプラザ』プロ棋士指導碁」を開催し、木谷實九段の功績と囲碁文化の普及振興を図った。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
34	2	継承	③	無形文化財保護事業	郷土芸能の継承と後継者の育成を図るため、活動発表の場である民俗芸能まつりを開催するほか、その保存に必要な活動支援等を行います。	第47回ひらつか民俗芸能まつりを令和5年11月19日(日)、13時00分～16時25分まで実施。関係者と観客合わせて177名参加。	第48回ひらつか民俗芸能まつりを令和6年11月17日(日)、13時00分～16時25分、5団体出演。後継者育成のための演技指導者派遣。	第48回ひらつか民俗芸能まつりを令和6年11月17日(日)、13時00分から16時25分まで実施。来場者、191名。後継者育成のための演技指導者派遣を1回(6月23日)実施。	ひらつか民俗芸能まつりは、前年度に比して来場者が微増したものの、より多くの来場者増が課題。無形民俗文化財の継承者に上演の場を提供することができた。また、人形芝居については演技指導者を派遣し、後継者育成に努めた。後継者不足が課題。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
35	2	継承	③	能狂言などの伝統芸能公演事業(再掲)	平塚市まちづくり財団が、普及・振興事業として、実行委員会を組織して実施します。	—	2月 能狂言 1日開催	2月8日(土)第10回湘南ひらつか能狂言開催。入場者516人。	平塚ゆかりの復曲能を10年ぶりに再演し、過去最高の入場者数となった。多くの方に日本の伝統芸能である能に触れる機会を提供することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
36	2	継承	③	芸術文化子ども体験事業(再掲)	子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史・伝統・芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	【依頼先】 小学校4、公民館5、教育力ネット3 【内容】 華道7、琴3、奇術1、茶道3、書道3、相模人形芝居2 参加者は205名。	12教室開催	【依頼先】 小学校3、公民館8、教育力ネット4 【内容】 華道7、茶道4、書道3、音楽4、相模人形芝居3	参加者は234名。体験を通して、子どもたちの芸術文化への関心や理解を深めることができた。未実施地区及び学校への周知、理解の拡大が課題である。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
37	2	交流	①	平塚市文化祭の開催	市民による日頃の文化活動の成果の発表と市民文化の高揚を目的として、舞台公演、芸術作品や文芸作品の公募と展示等を開催します。	令和5年10月7日(土)～11月12日(日)の期間に公募展3件、舞台公演10件、文芸大会・茶会等6件を開催。参加者と来場者は合わせて5,380名。	令和6年10月12日(土)～11月10日(日)の期間に公募展3件、舞台公演10件、文芸大会・茶会等6件を開催。	令和6年10月12日(土)～11月10日(日)の期間に公募展3件、舞台公演10件、文芸大会・茶会等6件を開催。参加者と来場者は合わせて4,804名。	展示部門は公募展応募者、会場来場者とも横ばい。文芸部門の応募者はやや減少。舞台部門は、伝統芸能の分野によっては継承者不足が懸念されており、参加者及び来場者増加に向けた普及啓発活動が課題である。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
38	2	交流	①	市民・企業・大学等交流事業	市民、企業、大学等の交流を促進するため、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光等の各分野における交流事業を推進します。	7月及び3月(書面)に交流委員会を開催した。各推進部会で合計11事業を実施した。延べ参加者数：7,076人	7月及び3月に交流委員会を開催する。各推進部会では合計12事業を実施する。	7月及び3月(書面)に交流委員会を開催した。各推進部会で合計12事業を実施した。延べ参加者数：6,416人	昨年度から1事業増。学生の参加が流動的な面があり、開催方法の見直しや交流の趣旨に沿った新規事業の掘り起こしが課題。	企画政策部	企画政策課	市と市民等が協働連携して実施
39	2	交流	①	公民館の文化的事業	公民館で活動している団体や、地域団体の活動発表をとおして地域コミュニティ文化の醸成を図ります。	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,583人(2日間)	・公民館まつりの実施 ・公民館フェスティバルの実施	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ4,037人(3日間)	・公民館まつりについては、各公民館の運営委員及び地域団体等と協力し、全公民館で実施することができた ・公民館フェスティバルについては、全公民館の登録団体を対象に、活動成果の発表の場を提供することができた	社会教育部	中央公民館	市と市民等が協働連携して実施
40	2	交流	①	市民総合体育大会開催事業(再掲)	正式種目を地区対抗として15種目18競技、公開種目を自由参加として6種目開催します。	10月22日(日)～11月12日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。正式種目の参加者は、2,985名	10月27日～11月17日に開催。	10月27日(日)～11月17日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。正式種目の参加者は、3,036名。	計画どおりに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
41	2	交流	①	各種スポーツ大会開催事業(再掲)	地区対抗と実業団対抗による、市内の公道をコースとする駅伝競走大会を開催します。	令和6年1月7日(日)に実施。地区対抗の部 20チーム 120 人 実業団対抗の部 9チーム 45 人 合計 29 チーム 165 人	令和7年1月12日に開催。	令和7年1月12日(日)に実施。地区対抗の部 18チーム 108 人 実業団対抗の部 8チーム 40 人 合計 26 チーム 148 人	計画どおりに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
42	2	交流	②	友好都市との市民交流や観光物産展の開催	文化、スポーツ、教育、産業の各分野を通じて友好都市と相互の市民交流を進め、相互の理解と友好親善を推進します。	7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市郷土芸能披露 高山市:12人 花巻市:10人 伊豆市:30人 7月 七夕まつり市民ツアー受け入れ 花巻市民43人 伊豆市民23人 7月 友好都市少年少女自然体験交流事業 参加者(引率含む):15人 8月 友好都市伊豆市・平塚市小学生交流事業 参加者(引率含む):17人 8月 伊豆市の魅力紹介展 来場者:97人 10月 湘南ひらつか囲碁まつり市民ツアー受け入れ 12人 10月 花巻市イーハトーブレディース駅伝 平塚市チーム派遣 7人 11月 伊豆市友好都市提携10周年記念市民ツアー 参加者:42人 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 来場者数:76,504人 12月 友好都市子どもスノー交流 児童16人 1月 平塚市市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致 9人 1月 伊豆市駅伝大会 平塚市チーム派遣(雨天のため中止) 2月 花巻の観光と物産展 来場者数:7,005人 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市郷土芸能披露 7月 七夕まつり市民ツアー受け入れ 7月 友好都市子どもマリン交流 8月 友好都市少年少女自然体験交流事業 9月 伊豆市の魅力紹介展 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 1月 平塚市市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致 1月 伊豆市駅伝大会 平塚市チーム派遣 2月 花巻市友好都市提携40周年記念市民ツアー 2月 わんこそば全日本大会食士派遣 2月 花巻の観光と物産展 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市郷土芸能披露 高山市:9人 花巻市:13人 伊豆市:25人 7月 七夕まつり市民ツアー受け入れ 花巻市民39人 7月 友好都市子どもマリン交流 参加者:29人 8月 友好都市少年少女自然体験交流事業 参加者:16人 9月 伊豆市の魅力紹介展 来場者:100人 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 来場者:75,800人 11月 高山市市民ツアー受け入れ 高山市民38人 1月 平塚市市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致:1チーム8人 1月 伊豆市駅伝大会 平塚チーム派遣:1チーム6人 2月 花巻市友好都市提携40周年記念市民ツアー 参加者:13人 2月 わんこそば全日本大会食士派遣 :1チーム3人 2月 花巻の物産と観光展 来場者数:7,587人 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	花巻市との友好都市提携40周年記念事業のほか、6年ぶりの開催となった小学生マリン交流など予定していた事業をおおむね実施することができた。それぞれの事業に多くの市民が参加し、各都市との友好を深めるとともに魅力発信につながった。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
43	2	交流	②	青少年国際交流事業	①青少年海外派遣事業 国際青年の年(昭和60年(1985年))の記念事業の一環として始まったもので、市内の中学生・高校生を海外に派遣し、青少年、教育、文化等、諸事情の調査視察、現地青少年との交歓交流などの各種活動を通して、国際的視野を広め、その成果を市内青少年活動の指導推進に役立てる目的で実施します。 ②ローレンス市青少年受入事業 平成2年(1990年)9月21日に締結された、アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市との姉妹都市提携に基づき、両市青少年の交流を図り、青少年の国際的な視野を広めることを目的として、平塚市青少年国際交流事業実行委員会に委託し、各方面から多大なボランティア協力を得て実施します。	①青少年海外派遣事業 令和5年7月21日～31日 中高生10名、引率者3名(青少年課職員2名、ヒコーキ雲の会1名)を派遣 ②ローレンス市青少年受入事業 令和5年6月30日～7月9日 中高生8名、引率者3名を受入	①青少年海外派遣事業 令和6年7月26日～8月5日 中高生10名、引率者3名(青少年課職員2名、ヒコーキ雲の会1名)を派遣 ②ローレンス市青少年受入事業 令和6年6月28日～7月7日 中高生9名、引率者2名を受入	①青少年海外派遣事業 令和6年7月26日～8月5日 中高生10名、引率者3名(青少年課職員2名、ヒコーキ雲の会1名)を派遣 ②ローレンス市青少年受入事業 令和6年6月28日～7月7日 中高生9名、引率者2名を受入	①青少年海外派遣事業 帰国時、ハリケーンの影響で予定していた飛行機が飛ばず、アメリカで2日間の滞在延長を余儀なくされた。その際の宿泊費等は自然災害に起因するもので航空会社等の瑕疵はなく、結果として市の負担となった。今後は自然災害等に起因する負担に対応できる保険加入が必要。 ②ローレンス市青少年受入事業 ヒコーキ雲の会のメンバーの他、今年度の平塚市青少年派遣団にも積極的に受入プログラムに参加してもらった。ローレンス市に行く前に交流できたことは平塚市青少年派遣団として大きな経験となった。その一方で、万が一の怪我についての補償が疎かになっていた。来年度以降は平塚市青少年派遣団に対しても事前研修からの保険加入が必要。	健康・こども部	青少年課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
44	2	交流	②	国際交流活動推進事業	国際交流員を任用し、市民の国際感覚や国際意識を高めるとともに、ホストタウンとしてリトアニアの都市との交流活動を推進します。また、市民主体の国際交流事業を実施します。	・ローレンス市青少年訪問団と市民との交流会 開催日時：7月3日（月）13時30分～16時30分 場所：平塚市崇善公民館 参加者：ローレンス市青少年8人、引率者3人 ・カウナス市との交流写真展を開催 ・カウナス市のイベント『ジャパンデイズ』で協力連携プログラムを実施 ・カウナス市と学校間のオンライン交流を4回実施 ・リトアニアやカウナス市の魅力を市民にPRするための『リトアニアウィーク2024』を実施 ・カウナス市と国際姉妹都市の盟約を締結（カウナス市で開催された調印式に市長らが出席）	・ローレンス市青少年訪問団と市民との交流会を開催します。 ・カウナス市からの公式訪問団を受け入れるとともに、同市の魅力を市民にPRするためのイベントを開催します。	・ローレンス市青少年訪問団と市民との交流会 開催日時：令和6年7月1日（月）13:30～16:30 場所：平塚市崇善公民館 参加者：ローレンス市青少年9人、引率者2人 ・カウナス市公式訪問団受入れ 受入期間：令和6年10月22日（火）～26日（土） 来平者：カウナス市副市長をはじめとするカウナス市関係者5人 ・カウナスウィーク2025 開催期間：令和6年10月16日（水）～25日（金） 場所：ひらしん平塚文化芸術ホール等 参加者：1,468人 ・カウナス市教育訪問団受入れ 受入期間：令和7年1月28日（火）～2月1日（土） 来平者：カウナス市の教育関係者9人	平塚市国際交流協会や平塚・カウナス交流推進委員会等の関係団体と連携して姉妹都市との交流事業を実施することにより、市民の国際感覚と国際意識の向上を図ることができた。 今後は、より市民ニーズを捉えた事業内容や実施方法を検討していく必要がある。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
45	2	交流	②	園児絵画展での友好都市園児の絵画共同展示	平塚市民間・公立保育園園児等の絵画を展示するとともに、友好都市である高山市、花巻市、伊豆市の保育園児等の絵画を展示し友好を図ります。	令和6年1月12日（金）から14日（日）まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市：2園・高山市：6園・伊豆市：1園の保育園が参加し、絵画918点を展示 見学者2,606人	令和7年1月16日（木）～1月19日（日）の日程で美術館市民アートギャラリーにて実施予定	令和7年1月16日（木）から19日（日）まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市：2園・高山市：6園・伊豆市：1園の保育園が参加し、絵画1028点を展示 見学者2,467人	開催日程の期間や時間をコロナ以前と同様に戻したことで、出展数や見学者が増え好評を得た。引き続き友好都市3市に協力を依頼し、友好を図っていきたい。	健康・こども部	保育課	市と市民等が協働連携して実施
46	2	育成	①	美術教育の普及・体験事業（ギャラリートークの実施）	担当学芸員が展覧会のポイントや作品の解説・質疑応答等を行いながら、展覧会全体を理解してもらうギャラリートークを行います。	ギャラリートークを13回、アーティストトークを4回、講演会を3回開催 参加者合計729名	多くの観覧者に展覧会全体を理解していただくために、展覧会のポイントや作品の解説を実施。	ギャラリートークを18回、アーティストトークを15回、講演会を3回開催 参加者合計2,147名	観覧者に展覧会全体を理解していただくための機会提供に努めました。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
47	2	育成	①	市民参加型第九のつどい	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として実行委員会を組織して実施します。	12月10日（日） 第九のつどい 観客723人	隔年開催のため実施なし	—	—	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
48	2	育成	①	小学生への囲碁普及活動	囲碁のまち ひらつかを市内小学生に知る機会を持ってもらい、新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やしていきます。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	イベントの周知等を通して、新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を実施します。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	限られた授業時数の中で、授業において取り扱うのが難しいことが課題となっている。	教育総務部	教育総務課	市と市民等が協働連携して実施
49	2	育成	①	文化芸術に関する資料の収集・提供	文化芸術に関する資料を地域のニーズに合わせて収集・整理し提供します。	中央図書館展示開催数 計77回	資料の収集 利用者の関心を高める資料展示の実施	展示開催数計 中央図書館 71回 北図書館 30回 西図書館 54回 南図書館 37回 合計192回	さまざまなテーマで利用者に図書館資料を紹介し、関心を高めることができた。	社会教育部	中央図書館	市と市民等が協働連携して実施
50	2	育成	①	園児絵画展での友好都市園児の絵画共同展示（再掲）	平塚市民間・公立保育園園児等の絵画を展示するとともに、友好都市である高山市、花巻市、伊豆市の保育園児等の絵画を展示し友好を図ります。	令和6年1月12日（金）から14日（日）まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市：2園・高山市：6園・伊豆市：1園の保育園が参加し、絵画918点を展示 見学者2,606人	令和7年1月16日（木）～1月19日（日）の日程で美術館市民アートギャラリーにて実施予定	令和7年1月16日（木）から19日（日）まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市：2園・高山市：6園・伊豆市：1園の保育園が参加し、絵画1028点を展示 見学者2,467人	開催日程の期間や時間をコロナ以前と同様に戻したことで、出展数や見学者が増え好評を得た。引き続き友好都市3市に協力を依頼し、友好を図っていきたい。	健康・こども部	保育課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
51	2	育成	②	小学校へプロ演奏家を派遣するアウトリーチ事業	小学校へプロの演奏家を派遣し、小学生にプロの生演奏やお話などを体験してもらい、音楽に対する興味関心を高めます。	小学校7校で7日間実施 内容:ピアノ2日間、ピアノ連弾3日間、プラスバンド2日間	小学校6校で7日間実施 内容:ヴァイオリン、ピアノ、ピアノ連弾、プラスバンド	小学校6校で7日間実施 内容:ヴァイオリン2日間、ピアノ1日間、ピアノ連弾2日間、プラスバンド2日間	身近な小学校の音楽室で、目の前でプロ奏者の演奏や、楽器の仕組みなどのお話を聞くことで、普段の授業やコンサートでは得られない、貴重な体験を小学生に提供し、音楽への関心を大きく高めることができた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
52	2	育成	②	文化芸術ホールでの親子向け、中高生向けワークショップ	実演芸術を通じて創造力やコミュニケーション能力を育てるワークショップを親子向け、中高生向けに実施します。	7月25日(木)(親子向け)劇団影法師 オモシロ影絵体験ワークショップ 参加 34人 8月2日(水)(中高生向け)郷田ほづみ 声優体験ワークショップ 参加 39人 2月12日(祝)(親子向け)親子のための日用品楽器づくりワークショップ 参加 39人	親子向けワークショップ 8月 1回開催 中高生向けワークショップ 6月 1回開催	6月1日(土)(中高生向け)永野亮比己 ミュージカルワークショップ 参加者24人 8月3日(土)(親子向け)三志郎のマジック体験教室 参加者43人	計画通り親子向け、中高生向けに1回ずつ開催、合計67人の参加があった。ミュージカルやマジックという多様なジャンルの文化芸術体験を提供し、参加した子どもや中高生の文化芸術への関心を高めることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
53	2	育成	②	生きる力を育む学校づくり推進事業	生徒の「生きる力」を育む学校づくりを推進するため、各中学校において芸術鑑賞教室の実施を支援します。	中学校15校(全校生徒対象) 演劇8校 音楽3校 古典芸能4校	中学校15校 全校生徒対象 各学年1回開催	中学校15校(全校生徒対象) 演劇3校 音楽7校 古典芸能5校	計画どおりに芸術鑑賞教室を合計15回開催し、市内中学生に多様なジャンルの文化芸術鑑賞体験を提供できた。	学校教育部	教育指導課	市が単独で実施
54	2	育成	②	子ども向け囲碁教室	子ども囲碁教室を実施し、囲碁文化の普及・振興を図ります。	通年で水曜・木曜子ども囲碁教室、土曜子ども囲碁教室、日曜子ども囲碁教室を実施。参加70人。 8月16日(水)～8月23日(水)夏休み子ども囲碁入門教室実施。参加2人。 3月26日(火)～3月30日(土)春休み子ども入門囲碁教室実施。参加14人。	通年の教室に加え、小学校の夏季休暇及び春季休暇時に1回ずつ実施予定	通年で土曜子ども囲碁教室、日曜子ども囲碁教室を実施。参加58人。 7月23日(火)～7月31日(水)夏休み子ども囲碁入門教室実施。参加者14人。 3月26日(水)～3月30日(日)春休み子ども囲碁入門教室実施。参加者17人。	夏休みと春休みの入門教室、通年での初級～上級の囲碁教室を子ども向けに開催し、89人の参加者があった。棋力の上昇に合わせて継続的に学ぶ機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
55	2	育成	③	文化芸術ホールでの働く世代向けワークショップ	実演芸術を通じて創造力やコミュニケーション能力を育てるワークショップを働く世代向けに実施します。	1月14日(日) わらリーマン 社会人のための漫才ワークショップ 参加22人	働く世代向けワークショップ 12月 1回開催	12月14日(土)に能楽ワークショップを開催 参加者31人	平塚出身の能楽師、加藤眞悟さんを講師に迎え、伝統芸能である能について座学、体験で実践することで参加者の理解が深まった。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
56	2	育成	③	美術教育の普及・体験事業(ワークショップの開催)	美術に親しむ人々の拡大と美術に関する学習活動や体験を目的に、子ども・親子や成人を対象としたワークショップを実施します。	56回開催 参加者数合計1,083名	美術への関心と親しむ人を増やすため、体験型学習活動としてワークショップを実施。	79回開催 参加者数合計2,890名	気軽に美術活動に取り組む機会の提供に努めました。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
57	2	育成	③	対話による美術鑑賞事業	作品を見る人が感じたことを言葉にし、他の人の意見も聞きながら考えを深め、作品の本質に迫ろうとする対話による美術鑑賞をボランティアの協力を得ながら市内小学校と連携して実施します。	8校38クラスで実施 参加者合計1,032名	対話による美術鑑賞を促進するため、市内小学校へ実施を呼び掛け。	7校29クラスで実施 参加者合計822名	美術作品に親しむことで、鑑賞力を高めながら気軽に美術館を利用できるよう対話による美術鑑賞を実施しました。	社会教育部	美術館	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
58	2	育成	③	子ども読書活動推進事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、全市的な読書活動を推進します。	平塚市子ども読書活動推進プロジェクト ・第1回「図書館でポスター・標語の宿題に挑戦しよう」令和5年8月16日(金)開催 参加 4名 ・第2回「外国の子どもたちに届けよう！～翻訳絵本づくり～」令和5年12月23日(土)開催 参加6組12名 ・第3回「おむすびひろば 絵本&パントマイム」令和6年3月28日(金)開催 参加20組52名 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第1回10月26日(木)開催 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第2回3月13日(水)開催 平塚市子ども読書活動ネットワーク ・機関紙『LINK』第27号第28号発行 ・あんどんをめろうin美術館6月23日(金)開催 ・本読みマラソン 12月1日(金)開催	・平塚市子ども読書活動推進プロジェクトの開催 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議開催等による活動支援 ・平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会との連携	平塚市子ども読書活動推進プロジェクト ・第1回「物語はひとつじゃない いっしょに絵本の世界へあそびにいこう」令和6年8月6日(火)開催 参加14組34名 ・第2回「もったいないばあさんのおはなし会」令和7年2月22日(土)開催 参加29組69名 ・第3回「オリジナル絵本を作ってみよう！」令和7年3月26日(水)開催 参加8組21名 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第1回7月9日(火)開催 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第2回12月17日(火)開催 ・各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議第3回3月25日(火)開催 平塚市子ども読書活動ネットワーク ・機関紙『LINK』第29号第30号発行 ・あんどんをめろうin美術館6月19日(水)開催 ・本読みマラソン 12月6日(金)開催	子ども読書活動推進プロジェクトを3回開催した。代表者会議3回、読書ネットのイベントを2回開催し、子どもたちの読書活動を推進する、各中学校区子ども読書活動推進協議会の活動を支援することができた。各中学校区子ども読書活動推進協議会について、ボランティアの声を聞きながら、よりスムーズな活動ができるよう効率的な運営のあり方を検討する必要がある。	社会教育部	中央図書館	市と市民等が協働連携して実施
59	2	育成	③	多様な学習推進事業	地域の特性を生かしながら、これまで培ってきたものに新たな手法を取り入れ、多様な学習機会を提供します。	【地区公民館】 ・家庭教育学級 102講座 2,355人（家庭教育講演会を含む） ・シニア学級 129講座 2,781人 ・児童・生徒地域参加事業 105講座 9,129人 ・自主事業 175講座 8,750人 ・ブロック事業 16講座 530人 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 759人 ・ひらつか地域市民大学 44人	【地区公民館】(各館) ・家庭教育学級 5講座 ・シニア学級 5講座 ・児童・生徒地域参加事業 3講座 ・自主事業 5講座(各地区)、1講座(ブロック) 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 ・ひらつか地域市民大学	【地区公民館】 ・家庭教育学級 91講座 2,991人（家庭教育講演会及び関連事業含む） ・シニア学級 126講座 2,562人 ・児童・生徒地域参加事業 115講座 10,024人 ・自主事業 174講座 8,893人 ・ブロック事業 11講座 567人 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 9講座 595人 ・ひらつか地域市民大学 34人	・地区公民館については、地域資源や地域人材を活用した事業等を、地域団体や教育機関と協力して実施することができた。 ・中央公民館については、専門的な内容の事業を実施することができた。	社会教育部	中央公民館	市が単独で実施
60	2	育成	③	大人、女性向け囲碁教室	各種囲碁教室を実施し、囲碁文化の普及・振興を図ります。	6月28日(水)～9月6日(水)毎週水曜日(8月16日を除く)にモーニング囲碁入門教室を実施。参加10人。 10月17日(火)～12月19日(火)毎週火曜日に女性のための囲碁入門教室を実施。参加10人。	モーニング囲碁入門教室を夏季に1回、女性のための囲碁入門教室を秋季に1回実施予定	6月26日(水)～9月4日(水)の期間、全10回のモーニング囲碁入門教室を実施。参加者12人。 1月8日(水)～3月12日(水)の期間、全10回の女性囲碁入門教室を実施。参加者18人。	大人向けの囲碁入門教室としてモーニング囲碁入門教室、女性囲碁入門教室を実施し、囲碁を楽しむ方の裾野を広げることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
61	2	育成	④	ミニコンサートのプロアーティスト出演	市内の公共施設等を活用して、文化芸術公演を実施します。	3月21日(木)リトアニアウィーク2024マリンバミニコンサート開催(2公演) 参加 150人 ミニコンサート出演：椎名友樹、藤井里佳	1回開催	3月15日(土)北ブロック公民館スプリングコンサート開催 参加74人 出演：アーバンサクソフォンカルテット	中心市街地から遠い地域に生活する市民に、実演芸術鑑賞の機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
62	2	育成	④	文化芸術ホール事業での市内アーティスト出演	市内アーティストの出演者を募集し、ひらしん平塚文化芸術ホールのオープンライブNEXTで演奏やパフォーマンスを実施します。	10回開催 10グループ出演 観客 445人	12回開催	12回開催12グループ出演。観客 1,009人	平塚市出身、在住、市内で活動するアーティスト12グループが出演し、アーティスト育成の場となった。申込不要の無料コンサートとして実施して、多くの市民の鑑賞機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
63	2	育成	④	文化芸術団体の公演事業支援	市内で活動する文化芸術団体の公演を共催することで、活動の広がりを補助します。	9月18日(月)「星空のレジェンド」ー七夕によせて-SPECIAL 開催 観客 830人 10月7日(土)～10月9日(月)第10回湘南バレエ・コンペティション2023 開催 観客 のべ2,000人	10月 湘南バレエコンペティション 3日開催	10月12日(土)～14日(月祝)湘南バレエコンペティション開催 来場者数1,700人	市内で活動するバレエ団体とひらしん平塚文化芸術ホールが共催することで、バレエダンサーの育成支援を実施できた。また、共催により事業広報が強化され多くの観客が鑑賞し、バレエの振興が進んだ。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
64	3	活用	①	アートギャラリー等施設利用促進事業	文化芸術活動の発表の場としての市民アートギャラリー等の貸出しを行います。	利用団体数合計143団体	多くの団体等に文化芸術活動の発表の場を提供。	利用団体数合計144団体	多くの団体等に文化芸術活動の発表の場を提供しました。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
65	3	活用	①	八幡山の洋館での文化事業	市内の明治建築として重要な文化財である旧横浜ゴム平塚製造所記念館に対する理解を深めていただき、かつ活用することを目的に、各種文化事業を実施します。	5月13日(土)・14日(日)第24回音楽のおくりもの 参加者324人 10月21日(土)・22日(日)第25回音楽のおくりもの 参加者317人 12月2日(土)・3日(日)第13回クリスマスフェスタ 参加者461人 3月2日(土)歴史講座 参加者27人 3月16日(土)文化講座 参加者32人 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日(12回)や春・秋のバラフェスタ、ジャズコンサートを開催	5月 第26回音楽のおくりもの 2日間 11月 第27回音楽のおくりもの 2日間 12月 第14回クリスマスフェスタ 3日間 3月 文化・歴史講座 2日間 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日や有料コンサートを開催	5月25日(土)・26日(日)第26回音楽のおくりもの 参加者374人 11月9日(土)・10日(日)第27回音楽のおくりもの 参加者447人 12月6日(金)・7日(土)・8日(日)第14回クリスマスフェスタ 参加者582人 3月8日(土)歴史講座・文化講座(同日開催) 参加者15人 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日(12回)や春・秋のバラフェスタ、コンサートを開催	市事業の他にも、指定管理者による事業を実施し、文化財の利活用が促進されている。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
66	3	活用	①	埋蔵文化財展示・活用事業	埋蔵文化財の保存作業の最前線となる埋蔵文化財調査事務所において、市民に向けた常設展示やイベントを行う等、積極的な利用促進を図ります。	7月24日・25日 勾玉教室 参加者37名 3月26日・29日 勾玉教室 参加者31名 常時 埋蔵文化財調査事務所内展示 見学者103名	埋蔵文化財調査事務所にて、勾玉教室を実施。 3月末 春の勾玉教室予定 埋蔵文化財調査事務所内展示常時実施。	3月26日・28日 勾玉教室 参加者44名 常時 埋蔵文化財調査事務所内展示 見学者67名	市民の埋蔵文化財への愛護意識の醸成につながった。	社会教育部	社会教育課	市が単独で実施
67	3	活用	①	文化財調査成果周知・活用事業	国民共有の財産である文化財を広く市民に周知し、愛護意識を高めるために、市内で発掘された埋蔵文化財の調査成果の公開や出土遺物の展示等を行います。	市HP上で令和4年度中に実施した発掘調査成果の公開を行い、情報発信を図った。 市内5つの公民館で展示を実施。平塚市博物館他、各地の博物館へ資料貸出5件、画像提供2件を行う。	市HPで調査成果を公開。地区公民館で展示を実施。平塚市博物館をはじめとする他博物館の展示に市内出土埋蔵文化財の貸出を行う。	市HP上で令和5年度中に実施した発掘調査成果の公開を行い、情報発信を図った。 市内5つの公民館で展示を実施。平塚市博物館他、各地の博物館へ画像を含む資料貸出10件行う。	市HP上でカラー写真を使って調査成果の公開を行い、従来よりも分かり易く広く成果を周知した。 公民館展示や各地公民館への資料貸出等を行うことで、埋蔵文化財の活用ができた。	社会教育部	社会教育課	市が単独で実施
68	3	活用	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭(再掲)	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月14日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 627名 9月23日(土)、24日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 463名 11月5日(日) 吹奏楽フェスティバル 12団体参加 観客 のべ1,168名 3月17日(日)市民合唱祭 23団体参加 観客332人	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 11月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月12日(日)ジャズフェスティバル 4団体参加 観客930人 9月28日(土)、29日(日)演劇フェスティバル 6団体参加 観客502人 11月10日(日)吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客1,096人 3月9日(日)市民合唱祭 25団体参加 観客329人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施され、合計46団体、観客2,857人が来場した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
69	3	活用	①	町内福祉村での文化的活動(再掲)	町内福祉村の活動拠点や自治会館などで福祉村のサロン活動を展開します。	18の福祉村で7,999回のサロンを実施し、79,907人が参加した。	各福祉村の活動が活発になるよう引き続き支援し、多くのサロン活動が展開されるよう促すとともに、広く活動を周知し、様々な世代の参画を促す。	18の福祉村で8,056回のサロンを実施し、82,433人が参加した。	各地区でボランティアの高齢化が進んでおり、継続的な活動が難しくなっている。	福祉部	福祉総務課	市と市民等が協働連携して実施
70	3	活用	①	公民館の文化的事業(再掲)	公民館で活動している団体や、地域団体の活動発表をとおして地域コミュニティ文化の醸成を図ります。	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,583人(2日間)	・公民館まつりの実施 ・公民館フェスティバルの実施	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ4,037人(3日間)	・公民館まつりについては、各公民館の運営委員及び地域団体等と協力し、全公民館で実施することができた ・公民館フェスティバルについては、全公民館の登録団体を対象に、活動成果の発表の場を提供することができた	社会教育部	中央公民館	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本 目標	施策 の方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和5年度の実績	③令和6年度の計画	④令和6年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
71	3	活用	②	文化情報誌たわわ発行	平塚市内の文化や芸術に関する情報を掲載する情報誌「たわわ」を発行します。	3回(6月、10月、2月)、各4,200部を発行。	年3回(6月、10月、2月)発行	3回(6月、10月、2月)、各4,200部を発行。	平塚市に縁のあるアーティストや文化団体、平塚の歴史、ひらしん平塚文化芸ホール、友好都市などの情報を広く市民に提供できた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
72	3	活用	②	文化芸術ホールの情報発信	ひらしん平塚文化芸術ホールの指定管理者がウェブサイトやSNS、情報紙などで、ホールで開催されるイベントなどの情報を発信します。	ホームページ閲覧数 621,753件 情報誌ミツカル 12回発行 SNS(フェイスブック、エックス、ユーチューブ)随時更新	ホームページ、SNS随時更新 情報誌ミツカルを月1回発行	ホームページ閲覧数 594,002件 情報誌ミツカル 12回発行 SNS(フェイスブック、エックス、ユーチューブ)随時更新	ウェブ媒体、紙媒体を併用して、ひらしん平塚文化芸術ホールの利用や各種イベントの参加につながる情報発信ができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
73	3	活用	②	文化芸術ポータルサイト開設・充実	市内の様々な文化芸術に関する情報をウェブ上で閲覧できるポータルサイトを開設します。	他自治体事例や、市内の文化芸術に関する情報掲載状況、文化芸術に関する市民アンケートの結果を踏まえて、ポータルサイトに掲載する情報の検討を行った。	ポータルサイト構築方法、ポータルサイトのデザインを検討する。	他自治体事例等との比較を通してポータルサイトのデザインを検討した。 構築方法については、新CMSの構築を予定している広報課との連携を深めて検討を行った。	関係各課と協議のうえポータルサイト構築方法、ポータルサイトのデザインについて検討する。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
74	3	活用	③	文化芸術ホール運営者による文化芸術ホール活用、賑わい創出	ひらしん平塚文化芸術ホール及び周辺の賑わいを創出するために、指定管理者がホール、見附台公園を活用したイベントや展示などを実施します。	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 1,900人 市民団体やお祭りとの連携 3回開催 参加 1,290人 エントランスギャラリーを活用した展示 11回開催 参加 6000人	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 2100人 市民団体やお祭りとの連携 6回開催参加 3,548人 エントランスギャラリーを活用した展示 10回開催 参加 4,430人	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 2100人 市民団体やお祭りとの連携 6回開催参加 3,548人 エントランスギャラリーを活用した展示 10回開催 参加 4,430人	文化芸術ホールや見附台公園を活用した事業の実施により、ホールやホール周辺の賑わいが創出された。 エントランスギャラリーや、廊下などに設置された自由に利用できる机・椅子の整備により、イベントが無い日でも多くの利用者で賑わいが創出された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
75	3	活用	③	まちづくり財団による文化芸術ホール活用	まちづくり財団が主催・主管する事業を、文化芸術ホールで開催し、多種多様な芸術体験を市民に提供します。	まちづくり財団の下記事業で合計6回文化芸術ホールを活用した。 ジャズフェスティバル1回、おもしろ音楽講座 3回、吹奏楽フェスティバル1回、第九のつどい 1回	文化芸術ホールを活用する事業 6回 5月ジャズフェスティバル 1回 11月吹奏楽フェスティバル 1回 12月 クリスマスコンサート 1回 2月 能狂言 1回 3月「木谷實・星のプラザ」まつり1回	文化芸術ホールを活用する事業 5回 5月ジャズフェスティバル 1回 11月吹奏楽フェスティバル 1回 12月 クリスマスコンサート 1回 2月 能狂言 1回 3月「木谷實・星のプラザ」プロ棋士指導碁 1回	計画された事業について文化芸術ホールで実施され、文化芸術ホールを活用して多くの文化芸術の鑑賞、体験機会が提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
76	3	活用	③	市内文化芸術団体が講師となる講座の支援	まちづくり財団やひらしん平塚文化芸術ホールが市内文化芸術団体が講師となる、講座・ワークショップを実施します。	7月4日、11日、18日、25日、8月1日、8日、12月5日、12日、19日(すべて火曜日) ワークショップはじめてのボタニカルアート40人 7月25日(火)、28日(金)、8月1日(火)、4日(金)、8日(火)、18日(金)、22日(火)、25日(金) ワークショップ2023将棋入門 24人	ワークショップ将棋入門(7～8月)全8回 ワークショップボタニカルアート(7月・12月)6回	ワークショップ将棋入門(7月23日～8月23日)全8回参加者数29人 ワークショップボタニカルアート(12月3日10日17日)3回参加者数10人	まちづくり財団事務所2階会議室を会場として、多様なワークショップの機会を提供することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
77	3	維持・保全	①	歴史的建造物保護事業	市内の明治建築として重要な文化財である旧横浜ゴム平塚製造所記念館を適切に管理し、将来に向けて保存していきます。	記念館の保全管理を適切に実施。	通常の維持管理(特掲事項なし)	記念館の保全管理を適切に実施。	木造建築物のため、定期的に外壁塗装と防蟻工事が必要となる。 来館者のアンケートには、維持管理が行き届いているなどの意見が多数あり、指定管理者による運営管理で登録有形文化財の保存と活用が良好に図られている。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
78	3	維持・保全	①	文化施設の維持管理と長寿命化	定期的な点検の実施と、計画的な建物及び設備等の改修により、文化施設の適切な維持管理と長寿命化を図ります。	文化施設34施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設14施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。四ノ宮公民館の新築工事实施中、松原公民館改修工事の設計及び金田公民館改修工事の設計を実施中。	文化施設34施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設14施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。四ノ宮公民館新築工事、松原公民館、金田公民館の大規模改修工事の設計を実施。	文化施設34施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設14施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。四ノ宮公民館の新築工事实施、松原公民館改修工事の設計及び金田公民館改修工事の設計を実施した。	定期的な点検や、地区公民館の新築工事、改修に向けた設計実施など、計画通りに文化施設の維持管理と長寿命化に取り組んだ。	市民部	文化・交流課ほか	市が単独で実施